

2017年度 川村育英会奨学生募集要項 (学部奨学生)

当会は、家庭の経済的事情により高等教育を受けられない儘でその才智を徒に埋もれてしまうことは、その本人は勿論、社会の大きな損失であるとの思いから、川村喜十郎(DIC株式会社創業者)およびDIC株式会社等の出捐により1953年に設立されました。爾来、将来社会に貢献しうる有能な人材を育成するため、奨学金を支給しております。

2017年度奨学生を下記のとおり募集しますので、志、夢を持ち、その実現に向け日々努力されている皆様の応募をお待ちしております。

記

1. 応募資格

2017年度大学の学部2年次に在学し、以下の①、②及び③のすべてに該当する方

- ① 有機化学、有機合成、高分子化学、高分子合成、無機化学、光化学、触媒化学、計算化学、液晶、界面化学、物理化学、生物化学、材料化学、分析化学、画像化学、化学工学などの化学系、および、機械工学、電気電子工学、制御工学を専攻
- ② 生計を一にする家族の年間収入(祖父母の年金収入は除く)が500万円以下
- ③ 成績証明書記載の学業成績に占める、A・優以上の最優等成績の割合が50%以上

2. 募集人員

7名(貴校より1名ご推薦戴き度)

3. 奨学金の支給期間および金額

- ①支給期間 2017年8月より大学卒業までの期間
但し、留年・休学等の期間は支給停止
- ②支給奨学金 月額30,000円(支給総額960,000円)

4. 応募書類

- ①奨学生申請書(別添様式(1)) ※本人直筆のみ有効とさせていただきます。
- ②学生推薦書(別添様式(2))
※指導教授、主任教授又はそれに準じる地位にある者が記載のこと。
- ③履歴書(別添様式(3)) ※写真貼付、e-メールアドレス明記。
- ④生計を一にする家族の収入状況を証明する書類(所得証明書等直近のもの)
- ⑤誓約書(別添様式(4))
- ⑥成績証明書
- ⑦在学証明書

5. 応募締切

2017年6月23日（金）必着

6. 奨学生の選考及び決定

奨学生の選考は奨学生選考委員会が行い、7月中旬までに理事会決議をもって決定する。

選考にあたっては、経済的困窮度のほか、学業成績、申請書の記載内容など人的要素を総合的に判断する。

7. 応募書類の提出先および連絡先

〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル

D I C株式会社 総務人事部（川村育英会事務局）島田・高橋・青木

TEL 03-6733-3010

e-mail : recruit@ma.dic.co.jp

8. 奨学生証授与式および交流会

新規採用奨学生には原則として、「奨学生証授与式および交流会」にご出席いただきます。

日時： 2017年8月28日（月）午前11時より

場所： 東京都中央区日本橋三丁目7番20号

D I C株式会社 2階大会議室

<http://www.dic-global.com/ja/>

※採用通知の発送時に、詳細をご案内申し上げます。

※往復の交通費は事前に当会にて支給させていただきます。

以 上

《学生時代に参加したサークル活動・文化活動・ボランティア活動など(所属時期:役職)》

《趣味・特技・スポーツ》

《学生時代に行ったアルバイト(経験年数)》

《自身の長所・短所》

《学生時代に周囲を巻き込んで成し遂げたことを具体的に教えてください。》

《保有している免許・資格》

年	月

《過去の賞罰》

年	月

《川村育英会へ伝えておきたいこと、ご質問などありましたらご記入ください。》

様式（1）※本人直筆のみ有効とさせていただきます。

年 月 日

奨学生申請書

申請者

所属

住所

氏名

印

1. 「私の志、将来の夢」について

当会は、高い志を持ち、その実現に向け日々努力されている方を採用したいと考えております。

あなたの青雲の志、将来の夢、それに賭ける意気込、気概について、具体的に記載してください。

なお、家族および本人の経済状況については、次頁3に記載のこと。

※本人直筆のみ有効とさせていただきます。

2. 家族構成及び収入状況

就学者以外の家族	続柄	氏名	年齢	職業等	給与所得の収入金額額(税込)	給与所得以外の所得金額	添付「証明書」の種類記号※
			歳	会社員・公務員・団体職員・自営業・パート 年金受給・その他()	万円	万円	A・B・C・D
			歳	会社員・公務員・団体職員・自営業・パート 年金受給・その他()	万円	万円	A・B・C・D
			歳	会社員・公務員・団体職員・自営業・パート 年金受給・その他()	万円	万円	A・B・C・D

本人以外の就学者	続柄	年齢	就学している学校種別及び学年			通学別
		歳	私立・公立・国立	小学校・中学校・高等学校・専門学校 高等専門学校・大学・大学院(修士課程・博士課程)	年在籍	自宅・自宅外
		歳	私立・公立・国立	小学校・中学校・高等学校・専門学校 高等専門学校・大学・大学院(修士課程・博士課程)	年在籍	自宅・自宅外
		歳	私立・公立・国立	小学校・中学校・高等学校・専門学校 高等専門学校・大学・大学院(修士課程・博士課程)	年在籍	自宅・自宅外

※添付「証明書」の種類記号

A. 「給与所得の源泉徴収票」、B. 「課税・(非課税)証明書」、C. 「納税証明書その2」(確定申告している場合)、D. 「受給証明書」(公的扶助を受けている場合)

3. 家族の特殊事情及び本人の経済状況

家族の状況	主たる家計支持者の方が失業や病気の場合、家族の介護・療養看護のために就労することができない場合、または自然災害等の甚大な被害を受けた場合、若しくはその他特殊な事情がある場合等は、その具体的な状況を記載してください。
本人の状況	アルバイト、当会以外のからの奨学金受給、親からの仕送りなどの収入状況、生活費全般(家賃・食費・水光熱費を含む)の支出状況について、その具体的な状況を記載してください。

4. 学業成績

自身の学業成績をどのように評価しますか。誇れる点、反省すべき点を簡潔にまとめてください。

様 式 (3)

誓 約 書

公益財団法人 川村育英会 代表理事殿

大 学 名
学部名・学科名
住 所
氏 名
生 年 月 日 年 月 日生

私は、奨学生に採用いただいた暁は、貴会奨学事業運営規程の各条項を誠実に履行し、将来の壮大な夢の実現に向けて勉学に励むことを誓約致します。

年 月 日

申 請 人
住 所
氏 名 印

連帯保証人
住 所
氏 名 印

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次									
	学籍番号	_____	性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)					
	フリガナ	_____				研究科	_____専攻 _____年次				
	氏 名	_____				家族住所	〒 _____ TEL (_____)				
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額		
		父				年		万円	万円		
		母					年		万円	万円	
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)									
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)									
							年		万円	万円	
							年		万円	万円	
							年		万円	万円	
							年		万円	万円	
	別 居 者 に × 印	就 学 者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額	
本人					筑波大学	国立		※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無								
	障害者がいる世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()						
	その他										
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定				
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()				総収入金額	① 万円			
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()				必要経費	② 万円			
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()				特別控除額	③ 万円			
その他の収入		月額 (千円) 内容 ()				総所得金額	④=①-②-③ 万円				
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100	

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。